

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | |
|---|---------|---|
| 1 | 施設名 | 仙台市泉社会福祉センター |
| 2 | 指定管理者 | 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 |
| 3 | 指定期間 | 平成29年4月1日～令和4年3月31日 |
| 4 | 施設の利用状況 | <p>《利用者数》</p> <p>令和元年度 21,522人 (前年度比 92.9%)</p> <p>平成30年度 23,179人 (前年度比 101.7%)</p> <p>平成29年度 22,784人 (前年度比 100.7%)</p> <p>《事業》社会福祉を目的とする団体等に対して会議や研修等の活動の場を提供すると共に、各種講座の開催や福祉情報の提供及びボランティアの育成等を通して市民の福祉に対する理解・参加を促進し、地域福祉の増進に資する事業を実施する。</p> |
| 5 | 収支の状況 | <p>《費用》</p> <p>()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 28,163千円 (27,121千円) その他市が負担した費用 1,157千円 (18,806千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 32千円 (40千円) |
| 6 | 利用者の声 | <p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケート・主催講座参加者アンケート・利用報告書の御意見欄等を通し改善に取り組み、その結果を館内の掲示板に公開している。また、地域代表・利用者代表・福祉団体代表による運営委員会を設置し、運営の改善につなげている他、利用団体相談会、交流会、センターまつり実行委員会をはじめ利用者との意見交換の場を設ける等利用者のニーズに寄り添った意見等の把握に努め、早急に対応している。</p> |

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|---|-------|
| I 総則 | 施設の設置目的に基づいた管理運営上の「基本方針」が確立されており、職員も理解している。また、「基本方針」を館内の掲示板に掲示し、利用者にも周知している。そのほか、短時間でも学べる手話教室や、親子で参加できる講座を開催し、幅広い年代の利用者の増加を図るなど、施設の設置目的を達成できており、評価できる。 | 39/39 |
| II 施設の運営管理体制 | 指定管理業務協定書及び仕様書、その他関係法令を遵守し、適切な施設運営がなされている。個人情報の保護に対する体制については、研修等を行う他、退庁時に書庫の施錠やクリアデスク等を徹底しており、評価できる。また、防災訓練の実施に加え、外部講師による避難所運営に関するイメージトレーニングを行うなど、利用者の防災意識の向上を図っている点も評価できる。 | 24/24 |
| III 施設・設備の維持管理 | 築28年を超える建物であるが、利用者の立場になって建物の小規模修繕の必要性などを考え、適確に設備の維持管理を実施している。その他、植栽外構などの環境整備についても適切に行われており、評価できる。また、利用者や入居団体等の理解と協力を得ながら、新・仙台市環境行動計画に則した取り組みを積極的に行っている。 | 24/24 |
| IV サービスの質の向上 | 併設施設である障害者福祉センター、社会福祉協議会泉区事務所等の窓口案内にも対応しているほか、窓口にはベルを設置してほしいという利用者の要望を取り入れ、スムーズな対応ができるようにした。また、利用者等へアンケートを実施した結果抽出された課題については、利用団体の代表者等で構成される運営委員会で改善点等をまとめ、利用者へ公表するなどサービス向上に努めており、評価できる。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | 施設運営の基本方針を定めた事業計画に基づき目標を定め、企画立案が行われている。また、地域住民や利用者のニーズに応じた各種講座やセンターまつりの開催により、地域住民との良好な関係を継続して構築するとともに、地域福祉の拠点としての機能も果たしており、評価できる。さらに、近隣にある福祉施設とも定期的に連絡会を開催する等連携を密にしており、また、地域要望に基づくボランティアマッチング等の取り組みも進められている点が評価できる。 | 10/10 |

三 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》

- ①地域福祉の拠点として、貸館による福祉活動場所の提供、ボランティア養成のための講座開催及び福祉情報の提供等を通して、市民の福祉に対する意識、関心を高めるとともに併設の泉障害者福祉センター及び仙台市社会福祉協議会泉区事務所、地域の福祉活動団体と連携を図りながら事業に取り組んだ。
- ②幅広い見地から意見をいただくために、運営委員会の委員から施設運営への意見・要望について協議できる体制を整え、利用者ニーズに寄り添ったきめ細かな事業展開に努めた。
- ③点字・手話などのボランティア養成講座による福祉人材育成や、本会泉区事務所と連携し、地域の福祉活動のネットワークづくりに取り組んだ。また、各種養成講座の修了者へのボランティア活動へのマッチング支援や、「センターまつり」の開催では利用登録団体で実行委員会を組織化して企画・運営を行い、地域のボランティア等の協力や地域住民による出店等の参加が得られ、関係する機関、団体の連携がより強化された。
- ④地域福祉に関する情報発信・提供の場として近隣施設により構成する「ぬくもりの里」では、施設長、実務担当者、看護師による会議を定期的に行い、施設間の情報共有を図り、センター主催の各種講座・教室への参加を促した。また、「センターまつり」では出展団体の活動発表や体験活動等を通じて、団体間の連携を図るとともに、地域住民等の来場者に福祉関係の情報発信・提供を行った。
- ⑤広報紙の「センターだより」は泉区役所・近隣の町内会・市民センターへ配布し、本会のホームページにも掲載することにより、センターや併設の泉障害者福祉センターの事業に関する広報の充実により、教室・講座の受講者増に努めた。
- ⑥併設の泉障害者福祉センター、泉区事務所と防火管理委員会を組織化し、災害対策に取り組んだ。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

併設施設である障害者福祉センターはもとより、「泉ふれあいの家」、「泉ひまわりの家」等の隣接する施設と連携を図りながら、地域で一体となった施設運営を行っており、高く評価できる。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部中止となった事業もあったが、利用者アンケートの結果に基づく短時間の手話教室講座や、親子で参加できる講座も新たに開催し、利用者の特性及びニーズに合った事業運営に努めている。さらに、傾聴ボランティア養成講座や手話教室等の修了者を対象に、スキルアップ研修、ボランティア活動へのマッチング及び自主グループの活動支援など、フォローアップにも力を入れており、地域福祉の担い手確保のための継続的・積極的な取り組みが評価できる。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局地域福祉部社会課